

2018. SEPTEMBER

広報 JAだてし



発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 TEL0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>



NO.611

Japan Agricultural cooperatives

主な内容

収穫体験&BBQ交流会

1日ホクレン開催

青年部 地域貢献活動

年金友の会 ゲートボール会長杯 その他

9月号

今月号のトピックス



収穫体験&BBQ交流会

8月18日(出)、今年度2回目となる伊達市広報室と当JA共催の収穫体験事業を市内圃場で開催しました。

今回の参加者は男性7名(内農業者2名) 女性5名の計12名で、男性参加者の圃場

で大玉トマトの収穫体験を行い、その後BBQを楽しみ交流を深めました。

赤く色づき始めたばかりのトマトを収穫し、出荷されていることを知っている参加者は普段目にしていない店頭での赤いトマトと違うことに驚いていました。

収穫した新鮮なトマトはBBQのサラダとして調理されおいしくいただきました。地域交流としてご参加されたい方や興味のある方はお問い合わせください。

※問合せ先：営農指導課 (23-2181)まで。



組合員説明会開催

8月30日(木)と9月1日(出)の2日間、JA伊達市本所及び登録支所において組合員説明会を開催しました。

平成30年7月末の各事業の進捗状況や信用事業の在り方の検討、JA北海道中央会の組織変更、JA北海道大会組

合員組織討議について説明がありました。中でも信用事業の今後の



1日ホクレン開催

8月23日(木)にJA伊達市本所にてホクレン農業協同組合連合会若小牧支所の主催で意見交換会が行われました。

佐藤組合長とホクレン若小牧支所長小川雅勇氏の開会挨拶のあとホクレン若小牧支所の各課長よりホクレン重点取組事項や概況など説明されました。

また、野菜市場の評価、将来性について、「もぎたて市」の強化など多くの質問・要望等が出されました。

数年に1度の貴重な機会に多くの意見交換を行うことが出来まし



在り方についてはこれまでの政策の経緯やおかれている環境、信用事業譲渡をしたと仮定した時のクミカンや貸付の変更点や道内JAの方針などの質問に細かく説明しました。

今後の農協改革に向けた動きに注視していきます。



JA青年部

青年部地域貢献活動

8月5日(日) JA伊達市青年部(坂元博)は、昨年に引き続きJA地域貢献委員会と共同でJA駐車場にて、伊達市の「大イベント」伊達武者まつりの武者行列に参加した329名への給水活動に取り組みました。

当日、取り組みに参加した坂元部長他部員2名は曇天でそう暑くもなく過ごしやすい天候でしたが、武者行列行進の疲れを癒すため給水を行いました。

青年部では今後も地域の方々との交流を通して、農業のみならず様々な形で地域に貢献していきたいと思えます。



年金友の会

ゲートボール会長杯

8月4日(出) だて歴史の杜ゲートボール場にて、年金友の会会長杯ゲートボール大会が開催されました。

当日は曇り空の涼しい風が爽やかな中、12名の参加者が3チーム



にわかれて対戦。みなさん元気よくプレーされていました。結果は以下の通りとなります。

- 優勝 チーム(ハ) 東海林信雄・堀 智博
- 準優勝 チーム(ロ) 蒔木 國嘉・加藤 恵一
- 平泉 国子・伊藤 喜枝
- 星 つるよ・渡辺千代子
- 3位 チーム(イ) 太田 智・篠原 裕治
- 加藤 イツ・大友 末子

第6号

各課
紹介

営農生産部 農産課

- 課長 岩崎 隆二 (下段中央)
- 係長 大津 和稔 (下段右)
- 主査 高木 浩考 (下段左)
- 係 橋本 朗子 (上段左)
- 係(臨時) 引間 仁志 (上段右)



コメント (岩崎課長)

農産課では、水稻・小麦・てん菜・小豆・種馬鈴薯・ホワイトアスパラガスを取り扱っております。試験圃設置による栽培技術の確立や安定販売に向けて努めて参りますので組合員の皆さまには、今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

広報担当より

伊達市上長和町で生産される「ななつぼし」は農産課の検査を受け、合格したお米がブランド米「伊達武者」として取り扱われます。市内約 220ha で生産されるお米は学校給食や全道へ出荷されます。当JAくみあいマーケットで「伊達市上長和町産のななつぼし「伊達武者」を購入できますので是非食べてみてください!

今回は営農生産部畜産課をご紹介します。

有害鳥獣駆除支援対策費支給について

① 新規銃器取得費用を助成します!

② 止め差し弾費を助成します!

対象者…JA伊達市正組合員及びその同居する家族

対象条件…(1)上記に該当する者で新規銃器取得者かつ有害鳥獣駆除と止め差しに協力できる者

(2)上記に該当する者で有害鳥獣駆除動物を捕獲し、止め差しを行った者が使用した弾費

助成金額…(1)新規銃器取得者は取得金額の1/2 または15万円のいずれか少ない方とする

(2)止め差し弾費は1頭1発限り500円とする

※予算は該当年度の予算計画の範囲内で支給する

※該当年度に支給できなかった場合には翌年度予算で受付順で支給する

申請書類…(1)新規銃器取得者

- JA伊達市有害鳥獣駆除支援対策費支給申請書 (新規銃器取得費用助成様式)
- 身分証明書
- 取得経費支払の領収書または振込金受取書
- 購入した銃器、保管庫の写真

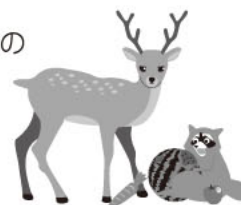
(2)止め差し弾費

- JA伊達市有害鳥獣駆除支援対策費支給申請書 (止め差し弾費助成様式)
- 身分証明書
- 申請者も写した有害鳥獣止め差し後の証明写真

振込先…JA伊達市有害鳥獣駆除支援対策費支給申請書に記載されている当JAの申請者名義口座

対策費の返還…対策費の支給を受けた者が下記のいずれかに該当した場合には支給を受けた対策費の全額返還をしなければならない。

- 有害鳥獣駆除と止め差しの協力(実績)がない場合
- 銃器取得に際し虚偽の申請をした場合



◎問い合わせ

伊達市農業協同組合 営農指導課 農業振興係
TEL: 0142-23-2181 (内線 292)
FAX: 0142-23-3174

JA北海道大会に向け実施した 組合員アンケート結果について

3年毎に開催している「JA北海道大会」が今年11月に予定されており、大会に先立ち平成29年12月～今年3月にかけて組合員意見が反映される大会になるよう、全道の組合員やJA利用者を対象にアンケートを実施しました。アンケートは全道で正組合員22,372名、このうち当JAでは正組合員54名の方から提出をいただきました。協力された皆様には厚くお礼申し上げます。全道平均では「農業所得増大」に繋がる項目に対する期待は比較的高いですが、満足度は高くなく期待とのギャップがある事がうかがえます。また、その他の項目も同様の傾向となっています。当JAアンケート集計結果では、区分別種別の期待している評価で全道平均より▲0.1ポイント、期待度で▲3%、満足している評価で▲0.1ポイント、期待度で+3.7%の結果となっており満足度では全道平均を上回っている結果となっています。

総合事業やJA事業利用規制に関しては、70%以上の組合員が「総合事業を維持すべき」「事業利用規制に反対」との回答となっています。

JA伊達市 正組合員アンケート集計表

回収人数 54人

【回答選択肢】

5=非常に期待(満足)している 4=やや期待(満足)している 3=どちらでもない 2=あまり期待(満足)していない

問1. JAの大会決議実践状況について

実践内容	区分	期待している		満足している	
		平均	期待度	平均	期待度
■基本目標1. 協同の力で「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」を実現					
(1) 農業所得20%増大	全道	3.8	60%	3.0	24%
	JA伊達市	3.6	56%	2.9	28%
(2) 新規担い手倍増	全道	3.6	52%	2.9	21%
	JA伊達市	3.5	48%	2.8	30%
・実践方策1-1 儲かる農業の実現に向けた収益向上の取り組み	全道	3.8	60%	3.0	25%
	JA伊達市	3.6	52%	2.8	25%
・実践方策1-2 営農基本技術の励行と生産から販売までのトータルコスト削減	全道	3.7	57%	3.0	24%
	JA伊達市	3.6	57%	2.9	25%
・実践方策1-3 力強く持続可能な農業を支える担い手の確保・育成					
(1) 地域の総合力発揮による担い手確保・育成に向けた取り組みの加速	全道	3.6	55%	3.0	22%
	JA伊達市	3.6	52%	2.9	25%
(2) 担い手が資源や技術をフル活用できる環境整備・経営サポート	全道	3.7	55%	3.0	22%
	JA伊達市	3.6	52%	2.9	25%
・実践方策1-4 道産農畜産物の海外への発信や北海道型6次産業化の展開					
(1) 道産農畜産物の海外への発信	全道	3.5	49%	2.9	19%
	JA伊達市	3.3	43%	2.8	23%
(2) 北海道型6次産業化・農工商連携の取り組み	全道	3.5	46%	2.9	18%
	JA伊達市	3.3	41%	2.8	23%
・実践方策2-1 農業の魅力を生かした地域づくり	全道	3.7	56%	3.0	24%
	JA伊達市	3.6	56%	2.9	26%
・実践方策2-2 地域の暮らしを守る基本インフラ(生活基盤)づくり	全道	3.6	52%	3.0	22%
	JA伊達市	3.5	46%	2.9	23%
・実践方策2-3 道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり	全道	3.5	48%	3.0	21%
	JA伊達市	3.5	44%	3.0	26%
・実践方策3-3 女性農業者のJA運営への参画	全道	3.6	50%	2.9	21%
	JA伊達市	3.6	56%	2.8	28%
	全道平均	3.6	53.3%	3.0	21.9%
	JA伊達市平均	3.5	50.3%	2.9	25.6%

問2. 「JAが総合事業を行うこと」、「准組合員のJA事業利用を規制すること」について

(1) JAの総合事業は

「①維持すべき・②農業関連事業(営農指導・販売・資材)に特化すべき・③どちらともいえない」

回答数/割合	維持すべき	農業関連に特化	どちらともいえない	合計人数
全道	66%	14%	14%	
JA伊達市	76%	9%	15%	
男性	38 78%	5 10%	6 12%	49
女性	3 60%	0 0%	2 40%	5
合計	41 76%	5 9%	8 15%	54
39歳未満	4 100%	0 0%	0 0%	4
40歳～59歳	15 75%	0 0%	5 25%	20
60歳以上	22 73%	5 17%	3 10%	30

(2) 准組合員のJA事業利用規制について「①規制に反対・②規制すべき・③わからない」

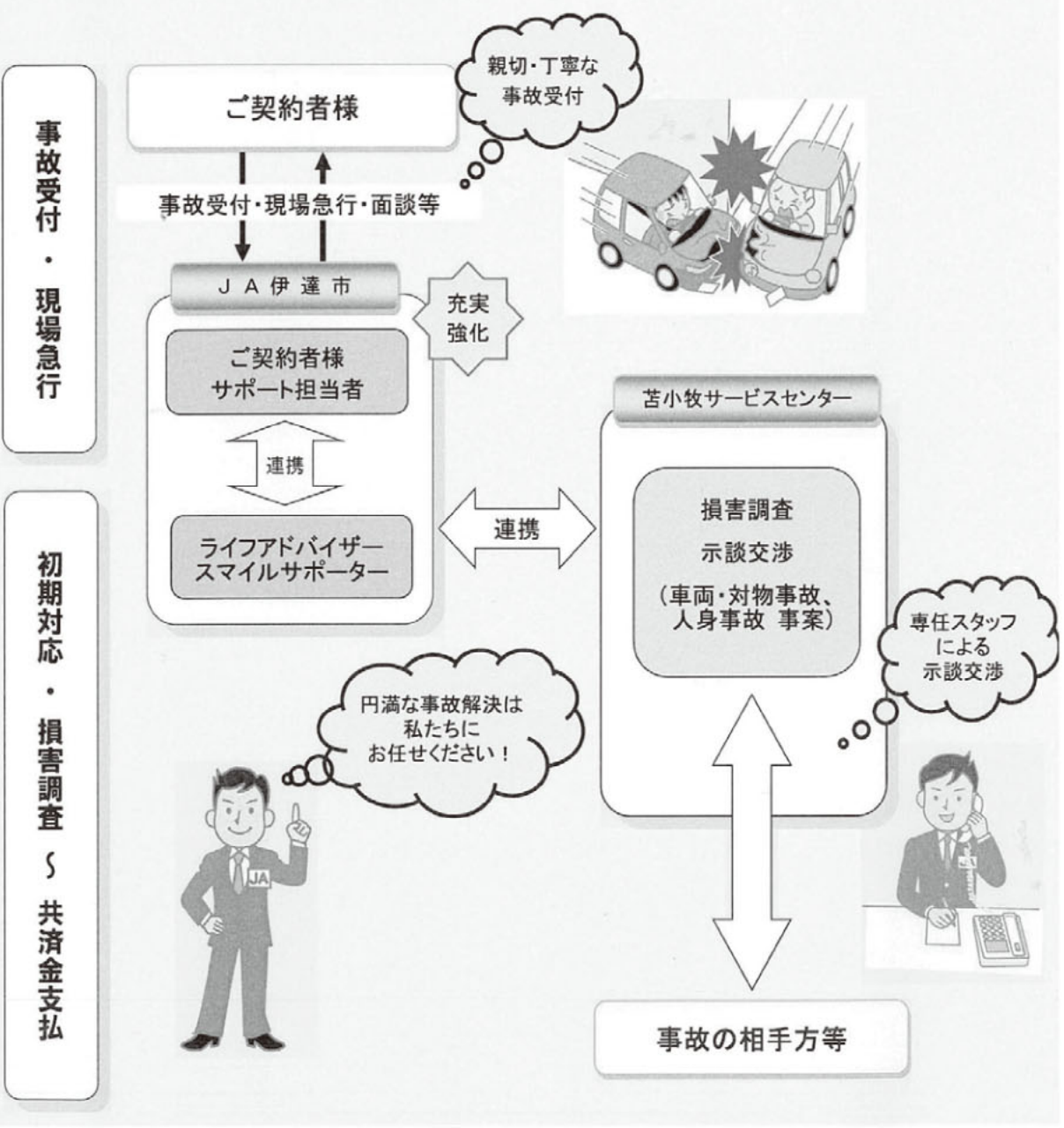
回答数/割合	規制に反対	規制すべき	わからない	合計人数
全道	55%	8%	37%	
JA伊達市	72%	7%	20%	
男性	36 73%	4 8%	9 18%	49
女性	3 60%	0 0%	2 40%	5
合計	39 72%	4 7%	11 20%	54
39歳未満	3 75%	0 0%	1 25%	4
40歳～59歳	13 65%	1 5%	6 30%	20
60歳以上	23 77%	3 10%	4 13%	30



平成30年10月より

JAの自動車損害調査体制が変わります！！

ご契約者様のサポートはJAが行い、
事故対応・示談交渉はJA共済連苫小牧サービスセンターの
専任スタッフがいたします。



事故にあった！ 故障して動かない！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA 共済
事故受付
センター **0120-258-931**

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA 共済
サポート
センター **0120-063-931**



POWER UP! レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が **無料!**

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が **無料!**

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能なお車の応急対応を行います。



● 事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります）

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。

※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。

※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応（事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等）を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時（対応は22時まで）、土日・祝日：9時～21時（対応は22時まで）です。

※対人賠償事故（人身傷害事故含む）、対物賠償事故、車両諸費用保険特約のついた車両単独事故が対象となります。

※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜：終日、日曜・祝日：0時～17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■ 各種サービス共通の注意事項（サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。）
 ※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
 ※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し
ます。J A北海道大会決議事項の実績やその時々の特
ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧
ください。

J A北海道 中央会



11月開催の第29回J A北海
道大会に向けて組合員の声を
反映させるため、9月末を期
限とする組織討議を実施しま
す。

原案には、前回大会で掲げ
たJ Aグループの将来ビジョ
ン「北海道550万人と共に
創る『力強い農業』と『豊かな
魅力ある農村』の実現」に向け
て、農業所得増大やサポー
ター55
0万人づ
くりの継
続実施な



J A北海道 信連



8月に、J Aとうや湖等の
協力を頂き、小学生の親子を
対象とした「旬食カレッジin
洞爺湖」を開催しました。

じゃがいもの
収穫体験、地元
産じゃがいも
やミニトマト
等を使った料
理教室、J Aに
よる講演等を
実施し、道産野菜のおいしさ
や栽培のこだわりなど、食や
農の大切さを伝えることがで
きました。



参加者には、「食に対する関
心が高まり勉強になった」「ま
た参加したい」など好評でした。

ホクレン



北海道産牛肉を炭火焼きで
楽しんでもらう「第2回北海
道牛肉まつりinさっぽろ」が7
月29日から8月1日の4日間
札幌パークホテル駐車場特設
会場で開か
れました。
このうち
2日目の30
日には「北
海道産牛肉
応援PR大



使」でグルメタレントのアン
シエラ佐藤さんが登場。北海
道庁とホクレンの若手職員計
5人を相手に「大食い競争」に
挑戦し、会場から大きな歓声
が上がりました。

J A共済連 北海道



8月3
日に札
幌・共済
ホールに
て「全道
L A・ス
マサポ大
会」が開
催され、平成29年度普及活動で
優秀な成績を収められたL A
22名と、スマイルサポーター15
名が登場し表彰されました。



J A共済では、これからも
「3Q訪問活動」と「あんしん
チェック(保障点検活動)」の実
践を通じて組合員・地域利用
者の信頼と期待に応え、「安
心」と「満足」の提供に努めて
まいります。

J A北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の
皆様の生命と健康を守るため
本会事業の積極的な啓蒙推進
を図ることを目的として、広
報誌「すまいる」を発行して
おります。

年3回発行しており、様々
な医療・健康情報を発信して
おります。

ホームページにもバックナ
ンバーを掲載しておりますの
で、是非「一読ください」。



理事会のうごき

第21回理事会…平成30年8月28日(火)

- ▶クミカン貸越極額の変更について
- ▶資金の新設及び信用供与の限度額変更について
- ▶信用事業方法書の一部改正について
- ▶第1四半期自己監査回答(案)について
- ▶JA全国監査機構一般監査の事務整備を要する事項の回答について
- ▶生乳受託販売規程の一部改正について
- ▶米穀共同計算基本要領の新設について
- ▶新規就農者用ハウス設置事業実施要領の新設について
- ▶新規採用職員の募集範囲について
- ▶管内における作況状況及び今後の対応について
- ▶信用事業の在り方検討について
- ▶組合員説明会の協議事項について

【巡回健診のご案内】

年に1度健診を受け、健康状態を確認し、成人病等の予防・早期発見に努めましょう。

◎日 程 伊達市…平成30年11月27日(火)
～11月29日(木)

◎場 所 登別市…平成30年11月30日(金)
伊達市…JA伊達市2階 1・2号会議室
登別市…鉄南ふれあいセンター

(登別市幌別町 3-17-1)
◎対象者 正組合員及びその家族の方で30歳以上の方

◎申込期日 平成30年9月28日(金)まで

◎申込先 JA伊達市営農指導課または登別支所
☎ 0142-23-2181 (営農指導課:内線 292)
☎ 0143-85-3151 (登別支所)

※受診料・健診内容の詳細は8月配送の農協だより
に同封しました文書を参照、または営農指導課へ
お問合せ下さい。

農産課より

麦乾施設精米業務休日のお知らせ

平成30年9月1日(土)～平成31年4月30日(火)まで
日曜及び祝日の精米業務を休止させていただきます。

土曜日につきましては通常通り精米業務を再開致します
ますので何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

問合せ先(農産課)

本 所 TEL 0142-23-2181 (内線 271)
麦乾施設 TEL 0142-23-2458

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.15

～ GPS 農業機械実演会を 開催します～

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会では、伊達市農業協同組合と共催で、GPSを搭載したトラクターによる農作業実演会を開催します。

今後の営農活動において参考となる貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください。

記

1. 日 時
平成30年9月19日(水) 午後1時～午後3時
2. 場 所
伊達市長和町817番地1 (マルシメおめぎ圃場)



3. 申し込み方法
当日、直接会場にお越しください。
4. 指導・協力
ヤンマーアグリジャパン(株)
5. 実演内容
GPSを活用した農業機械の解説とデモ走行及び試乗
6. その他
雨天時や圃場の状況により、中止となる場合もありますので、予めご了承ください。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内
Tel.0142-23-3331 (内線 539))